

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第126回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第49回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第126回運営委員会議事録

日 時：5/20(日) 18:30-20:40

場 所：日本地球惑星科学連合2018年大会会場

幕張メッセ国際会議場301A

運営委員会委員：

出席者 17名

荒川 政彦, 倉本 圭, 中本 泰史, 中村 昭子, 渡邊 誠一郎, 千秋 博紀, 田近 英一, 諸田 智克, 林 祥介,
平田 成, はしもと じょーじ, 竹広 真一, 中島 健介, 寺田 直樹, 中村 智樹, 上野 宗孝, 藪田 ひかる

欠 席 6名

和田 浩二, 生駒 大洋, 田中 智, 佐伯 和人, 小久保 英一郎, 橘 省吾
(委任状：議長5通)

オブザーバー：

黒川 宏之(連合大会プログラム委員)

門野 敏彦(学会賞選考委員長)

議題・報告事項：

1. シニア会員制度について(中村将来計画専門委員長)

- ・経験豊富な会員に退職後も学会活動を行っていただきたい。
- ・会費を0円にするが、遊星人の冊子は送付しない。
- ・ウェブシステムを利用できる。会員区分、名簿閲覧権限の設定は可能。会員継続の消極的意思確認(例えば数年間ログインがなければ退会処置)も可能。
- ・会員資格の変更は、申告制とする。
- ・選挙権・被選挙権・総会議決権は持たない(被選挙権がなくとも運営委員、各種委員になることは可能)。名簿検索権、秋季講演会を単独発表する権利は持つ。
- ・条件は65歳以上、正会員として10年以上(退会者も可、除名者は不可)、常勤職ではない、とする。
- ・以上の制度を総会で提案することで了承された。

2. 会計第14期上期決算(竹広財務専門委員長)

- ・58万の赤字予算、51万の黒字決算となった。
- ・秋季講演会から約40万の余剰金、遊星人発行費用から約50万円の余剰金が出た。

- ・いただいた寄付金10万円を学会賞に充てた。
- ・資産合計は1000万円を超えた。
- ・会費収入はおおむね例年通り。

3. 会計第14期下期予算執行状況報告(竹広財務専門委員長)

- ・収入支出ともにほぼ予算通り進んでいる。
- ・いただいた寄付金10万を発表賞に充てる予定。

4. 第14期上期活動報告ならびに第14期下期活動計画(諸田総務専門委員長)

第14期上期活動報告は以下の通り。

- ・2017年12月時点での学会員数は、正会員 612, 賛助会員 3, 購読会員・法人 12。
- ・2017年の連合大会は参加者8450名, 発表者5465名となった。
- ・2017年秋季講演会は、参加者211名, 口頭110件, ポスター72件であった。
- ・EPS Vol. 69を発行した。
- ・2016年度最優秀研究者賞に秋山会員, 2017年度最優秀発表賞に野津会員が選ばれた。
- ・惑星科学フロンティアセミナー2017には23名が参加した。

第14期下期活動計画は以下の通り。

- ・2018年秋季講演会は、10月17日から19日の日程で旭川で行われる。
- ・惑星科学フロンティアセミナー2018の日程は未定。
- ・2018年連合大会は5月20日から24日に開催。
- ・第10回惑星探査実習会を、3月5日から7日の日程ですでに実施した。

5. 学会賞選考委員の入れ替え(諸田総務専門委員長)

門野敏彦, 千秋博紀, 藪田ひかる, 高橋芳幸会員が退任し, 寺田健太郎, 田中智, 阿部新助, 玄田英典会員が継続する。新委員として, はしもとじょーじ, 上相真之, 黒澤耕介, 脇田茂会員が提案され, 承認された。

6. 入退会について(諸田総務専門委員長)

2018年5月16日現在, 正会員589名, 学生会員65, 賛助会員が1件増えて3件となった。

- ・引き続き, 退会希望者の慰留にご協力いただきたい。
- ・賛助会員のロゴをトップページに掲載することを検討する。

7. 役員選挙規定の改定について(諸田総務専門委員長)

- ・前回の運営委員会で承認された改正案を5月21日の第49回総会の議事にする旨が報告された。
- ・条文について軽微な修正の提案がなされた。

8. その他総務からの案件(議長・書記の承認等)(諸田総務専門委員長)

議長に癸生川陽子会員, 書記に洪鵬会員がそれぞれ提案され, 承認された。

9. 各専門委員会方針(各専門委員長)

第49回総会における各種委員会方針説明の確認を行った。

10. 連合大会プログラム委員からの報告(黒川連合大会プログラム委員)

来年度惑星科学セッションコンビーナとして黒崎健二会員(正), 仲内悠祐会員(副)が選出されたとの報告がなされた。また, 来年度連合大会プログラム委員として濱野景子会員(正), 堀安範会員(副)が推薦され, 運営委員会はこれを了承した。

11. 遊星人の発行状況報告(和田編集専門委員長)

和田編集専門委員長より以下の書面報告があった。

- ・遊星人は概ね滞りなく発行されている。
- ・2018年3月号の発行が予定より約3週間遅くなったのは, 著者校正に時間を要したためであった。

12. 2017年度最優秀研究者賞について(門野学会賞選考委員長)

7名の応募者があり、鎌田俊一会員を推薦することに決定したとの報告がなされた。運営委員会はこれを了承した。

13. 2018年秋季講演会・学会賞実施案(倉本2018年秋季講演会組織委員)

- ・旭川市科学館で行う。科学館共催で会場料無料。
- ・3分口頭講演付きポスター発表を試行する。
- ・参加費用は昨年を踏襲。非発表の学部生、M1に限り参加費を無料とする。

14. 2019年秋季講演会について(竹広2019年秋季講演会組織委員)

- ・LOCは河北秀世会員(京産大)。京産大施設を利用する予定。
- ・日程は9月9日前後、11月3日前後、8月下旬が候補に挙がっている。

15. 将来構想検討作業部会の委員選出について(中本将来構想検討作業部会長)

- ・メンバーとして中本泰史会員(部会長)、倉本圭会員、関根康人会員の3名が提案され、承認された。
- ・大型研究計画マスタープラン、夢ロードマップ、RFI等の検討を目的する。
- ・マスタープランについては6月から夏にプランを募集するので提案していただきたい。

16. EPS 5学会長会合の報告(荒川会長)

- ・応募していた科研費が不採択となり、予算が厳しくなった。
- ・掲載料を増額し、赤字のない運営にすることを検討している。
- ・APC補助が5%に減る。
- ・赤字のあるうちは各学会がEPSに資金注入を行う。黒字化されれば返金される。
- ・明日の第49回総会ではEPSの現状について説明を行う予定。
- ・運営委員から、PEPSとの統合を進めるべきではとの意見が出た。

17. その他

予定されるはやぶさ2の到着について、惑星科学会長名で声明を出す方向で合意した。

◇日本惑星科学会第49回総会議事録

日 時：5/21(月)12:30-13:30

場 所：日本地球惑星科学連合2018年大会会場

幕張メッセ国際会議場国際会議室

正 会 員：589

定 足 数：59

参加人数：52名(開会時)(これに加えて非会員の傍聴者0名)

>54名(議事3.1採択時)>54名(議事3.2採択時)

委 任 状：104通(ただし、内1通分は提出者が総会に参加したため無効)

議長：99通

荒川 政彦 会員：1通

生駒 大洋 会員：1通

小林 浩 会員：1通

保井 みなみ 会員：1通

1. 開会宣言

諸田総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に 癸生川陽子 会員、書記に 洪鵬 会員が選出された。

3. 議 事

3.1. 第14期上期(2017年度)活動報告

・基調報告(荒川会長)

2017年度の事業報告, 学会員数, 連合大会概要, 秋季講演会概要, 学会誌の発行状況, 欧文専門誌の発行状況, 学会賞受賞者, フロンティアセミナー概要, 収支決算, 学会運営, その他報告事項(惑星探査専門委員会の新設, 役員選挙規定の改定作業, 運営委員会にTV会議の導入, 賛助会員1件追加)等の説明がなされた。

・会計報告(竹広財務専門委員長)

第14期上期の決算について報告された。支出の部において, 2017年度予算額は約-50万円の赤字を予定していたが, 決算は+50万円の黒字となった。原因は秋季講演会の収入が予想より多く, また遊星人の印刷・製本費が安かったためである。

・会計監査報告(門野会計監事)

収支決済に誤りの無いことが確認された事が報告された。

・各種専門委員会報告

惑星探査専門委員会より(千秋委員長に代わり荒川会長)

惑星科学/太陽系科学 研究領域の目標・戦略・工程表の改訂を行ったこと(2017年度版), 今後も毎年改訂していくことが報告された。

・2017年度最優秀研究者受賞者発表(門野学会賞選考委員長)

7名の応募者の中から 鎌田俊一 会員が受賞されたことが報告された。

・質疑応答及び討論

質問なし

・採 択

第14期上期活動報告の採択が行われ, 賛成: 157(うち出席者54), 反対: 0, 保留: 0により採択された。

3.2. 第14期下期(2018年度)活動方針

・基本方針(荒川会長)

事業概要, 予算, 秋季講演会予定, 学会賞, 各種専門委員会などが説明された。

・役員選挙規定改定(諸田総務専門委員長)

下記の改定案についての説明がなされた。

第5章16条の追加: 3期連続して運営委員, 会長もしくは副会長のいずれかである者は被選挙人から除く(抜粋)。経験値を考慮することも重要だと思うが, 今まで連続してやっていた人が会長, 運営委員になることはないのか? の質問に対して, 会長選挙は別であり, また運営委員のうち8人は会長による選出のため, 選出されれば運営委員になる可能性はあることが報告された。

・各種専門委員会活動方針

シニア会員制度について(中村探査計画専門委員長)

経験豊富な会員に, 退職後も学会活動を手伝えるように, 継続しやすい会員区分を設定できないか。財務的

な観点から、シニア会員の会費を0円にしつつ、若手の負担が増えないような会員区分を検討した。連続的に10年以上正会員である必要があるのか？直前にまとめて10年分を払ってシニア会員になることも可能か？の質問に対して、除名されていなければ可能との意見が提案された。

将来構想検討作業部会（中本将来構想検討作業部会長）

日本学術会議「大型研究計画マスタープラン」への応募準備について説明があった。

EPSについて（生駒欧文誌専門委員長に代わり荒川会長）

これまで出版状況は好調で引用も増えている。平成30年度科研費が不採択となったが、平成32年度の黒字化を目指している。5学会の分担金を増やすことはしない。

契約を前倒しすることを検討している。また出版料の値上げ、会員には学会年会費相当程度の補助、5学会から臨時的資金注入を行う。PEPSとEPSの統合も視野に入れている。

・質疑応答

質問なし

・採 択

第14期下期活動方針の採択が行われ、賛成：157（うち出席者54）、反対：0、保留：0により採択された。

4. 報告事項

4.1. 2018年秋季講演会について（倉本2018年秋季講演会組織委員）

会期（10/17-19、3日間、旭川市科学館）、一般講演の内容および講演者、総会・懇親会、会場やその周辺の内容、講演受付日程、予稿集の冊子の発行をしないこと、会費、LOC体制、などについて説明がなされた。

4.2. その他

竹広財務専門委員長より、今年度の予算執行状況に関して報告があり、おおむね予算通り進んでいること、今年度も匿名の方から10万円の寄付があったことが報告された。

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2018年9月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。（五十音順）

- ・有限会社テラパブ
- ・Harris Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など.

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません. 各自でご確認ください.

2018/10

10/17-19 日本惑星科学会 秋季講演会

(a)沖縄コンベンションセンター, 沖縄県宜野湾市

(b)日本惑星科学会

2019/06

6/15-21 第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム

(a)愛媛県松山市

(b)31st ISTS Organizing Committee

(c)<http://www.ists.or.jp>